

小 / 理科 / 5年 / 生物と環境 /  
人と動物のたんじょう / 理解シート

## ミミズは、どうやってふえるの



ミミズはたまごを産む。たまごは受精じゆせいした後、約1か月で、3mm ぐらいの子どもがふ化して出てくるよ。

ミミズは、1ぴきの体にオスとメスの両方の器官をもつ雌雄同体しゆうどうたい

ミミズは、カタツムリなどと同じように、1ぴきの体の中にオスとメスの両方の器官があります(雌雄同体という)。でも、たまごが受精(オスの精子せいしと結びつく)するためには、別なミミズの精子をもらわないと受精できないようになっています。

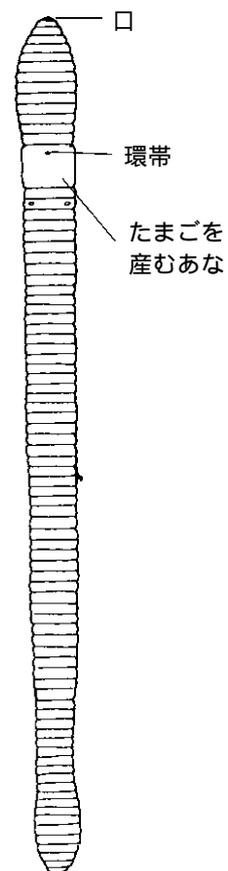
図のように、ミミズの体にある太いおびをまいたような部分(環帯かんだい)に、たまごを産むあながあります。2ひきのミミズは環帯をくっつけあって、おたがいに精子をわたし、ねん液えきにつつまれて出てくるたまごは、精子と結びついて受精卵じゆせいらんになります。

受精卵は、ふくろにつつまれています。ふくろの中は白いたんぱく質のねん液で満たされていて、たい肥ひの中こにいるシマミミズならば、10~60個のたまごががういています。

ミミズの種類によって、ふ化する時期や期間がちがう

たいていのミミズは、夏にたまごを産み、親は秋に死にます。たまごは冬をこして春に3mm ぐらいの子どもが出てきます。そして3か月もすると、体に環帯ができて、おとなのミミズになります。

シマミミズは、1年中たまごを産み、そのまま冬をこします。シマミミズのたまごは、温度によってふ化する日数がちがい、25 なら約19日、低温の15 なら46日もかかります。



ミミズの体